

革新力

国境を超えた施工管  
理

う、東京にいながら、  
鉄骨を組んでいるかの  
ようだ。

た巨大ユニットがタワークレーンで吊り上げられ、ゆっくりと高層階建てへと運び込まれる。この作業は、安全ルールを重ね、安全第一主義を徹底して実施される。

く。遠隔操作室では、技術者がモニターを通

じ、重機を安全に操るタワークレーンの動きと建物をリアルタイムで同期し、干渉(接触)リスクをAIが即座に検知。万一事態には、

非常停止が自動で作動する。

これにより、作業の  
安全性と生産性向上、

技能補完と省人化を実現した。東京から技術者たちが、デジタル空間上で、遠隔監視を行

工の普及にも貢献 現長の三輪毎明氏は次の実世界（現場）と仮想 ように述べた。

構組が力を入れている。生産性向上と安全性を  
のが、「ロボティクス 同時に高めていく。熟  
コラボレーション 現者たる技術者が、マネジメント

施工管理を行つ

建設  
熊本

本城天子、關

復旧ノ口

理た ロボット

○  
○活躍  
○進み、

# デジタルとロボット活用で変わる建設現場

大林組

タル空間を同期させて 入。東京スカイツリー、  
大林組が将来像とし  
て描くのは、サイバー

■多様な人が参加可能  
■多様な人が参加可能

施工中は、現場のデータ館のほか、日本を代わたり、脈々と続いて

アプローチも同時並行などの大規模インフラの整備を担ってきた。戦争貢献してきた。その理

工法といった作業その場（現東京駅）の駅舎のをなくす設計的な施工や、ダムや橋梁の施工による誠実なものづくりを通じて、新たな

を要する複雑工程を担当する。一方で、溶接などの大型建築に携わつと共に歩みを進め、数々の大型建築に携わつとして、「優良工作物」努力を経（たていと）



デジタルツインを活用した次世代クレーン運転支援システム。上が現実空間、下がデジタル空間。画像は大林組提供